

1

新聖歌81 諸人声上げ

1
諸人声上げ 喜びたえよ
神の恵み この世に現われ
ダビデの村の いぶせき馬屋に
聖き御子は 生まれ給う

2
諸人声上げ 喜びたえよ
天の扉 今しも開かれ
尽きぬ恵みを 身に帯び給いぬ
聖き御子は 生まれ給う

新聖歌81 諸人声上げ

1
ああベツレヘムよ などがひとり
星のみ匂いて 深く眠る
知らずや今宵 暗き空に
常世の光の 照りわたるを

3.
静かに夜露の 降ることく
恵みの賜物 世に臨みぬ
罪深き世に かかる恵み
天より来べしとたれかは知る

主の前にひざまづき

F Am
主の前に ひざまづき
Bb F C
心から賛美ささげる
Bb C/Bb AmDm Gm C7 F
あなたはとこしえに わたしの神

新聖歌99 馬槽の中に

1
まぶねの中に産声上げ
たくみの家に 人となりて
貧しき憂い 生くる悩み
つぶさになめし
この人を見よ

2
食する暇もうち忘れて
虐げられし人を訪ね
友なき者の 友となりて
心砕きし この人を見よ

3
すべてのものを与えしすえ
死のほか何も 報いられて
十字架の上に上げられつつ
敵を赦しし この人を見よ

4
この人を見よ この人にぞ
こよなき愛は 現れたる
この人を見よ この人こそ
人となりたる 活ける神なれ

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルの成長のため
- 教会員とご家族の養いと導きと守りのため。
- 魂の救いと地域の伝道のため
- インターネット YouTube が用いられるように。
- 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- ライフアートスタジオのこれからのため
- ウクレレ教室/キッズ英語教室/モンテッソーリ教室
- クリスマス・アルバム「Room For Christ」のため

5. 日本と世界の平和を願って...

- 日本の国の霊的回復とリバイバルのため
- アジアの緊張関係にあつて日本が用いられるように
- アメリカ大統領とこれからの世界情勢のため
- イスラエルの平和のため



ルカによる福音書
1章72～73節
こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、すなわち、父祖アブラハムにお立てになった誓いをおぼえて...

小惑星 B-612
パスカルのパンセ断章 612

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number:039

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致しましょう。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書1章28～30節

28 御使がマリヤのところにきて言った、「恵まれた女よ、おめでとう、主があなたと共におられます」。29 この言葉にマリヤはひどく胸騒ぎがして、このあいさつはなんの事であろうかと、思いめぐらしていた。30 すると御使が言った、「**恐れるな、マリヤよ、あなたは神から恵みをいただいているのです。**」

ルカによる福音書1章57～66節

1:57 さてエリサベツは月が満ちて、男の子を産んだ。1:58 近所の人々や親族は、主が大きなあわれみを彼女におかけになったことを聞いて、共どもに喜んだ。

1:59 八日目になったので、幼な子に割礼をするために人々がきて、父の名にちなんでザカリヤという名にしようとした。1:60 ところが、母親は、「いいえ、ヨハネという名にしなくてははいけません」と言った。1:61 人々は、「あなたの親族の中には、そういう名のついた者は、ひとりもいません」と彼女に言った。1:62 そして父親に、どんな名にしたいのですかと、合図で尋ねた。1:63 ザカリヤは書板を持ってこさせて、それに「その名はヨハネ」と書いたので、みんなの者は不思議に思った。1:64 すると、立ちどころにザカリヤの口が開けて舌がゆるみ、語り出して神をほめたたえた。

詩篇 34 篇 8 節

主の恵みふかきことを味わい知れ、
主に寄り頼む人はさいわいである。

3

黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

「賛美に先立つ沈黙」大川牧師

朝顔の蕾は、光に先立つ夜の時間の冷たさと、闇の深さが不可欠であるように、沈黙の中からしか生み出されない賛美がある。あえて神様は、私たちに「賛美に先立つ沈黙」を通らせられるのです。

『星の王子さま』

王子様の住んでいた星
=「小惑星 B-612」

パスカルのパンセ(人間は考える葦であるで有名)から来ている。
彼が読んだブルンビュック版の頭文字 B の断章 612

『創世記』17章。〈私はあなたとのあいだに契約をたてて、永遠の契約とし、あなたの神となるであろう〉〈あなたは私の契約を守らねばならない〉



4

みことばの解説

ルカ福音書1章は、イエス様の降誕を前に、非常に興味深く描かれています。ザカリヤの妊娠とマリヤの受胎、そこには御使いの登場があり、聖霊様の働きがありました。すべては神様の側の働きかけによって成されたことが分かります。

また、マリヤのエリサベツ訪問にも、交わりの豊かさと同様に、信仰を支え合い祈り合う友がどれほど大切かを思います。

また、このルカ1章には、マリアの賛歌(Magnificat)と、閉ざされた口を開かれたザカリヤの賛歌があります。音楽性・文学性・芸術性・感性(Life Art)に富んだ章であり、神の啓示は賛美を生み出すことを知ります。どんなに厳しい試練や閉塞であっても、神様の御手にあるなら、賛美と変えられるのです。

祭司ザカリヤの名前は、「ザカリ=覚えている」と「ヤー=ヤーウエなる神様」というふたつの意味が合わさって、「神様は覚えておられる」「私たちがは忘れていない」という意味です。その妻エリサベツは、「エリ=神様」「サベツ=誓い」という意味で、『神は誓われる』あるいは『誓いの神』。ふたり合わせると、『神様は誓われたことを覚えておられる』という意味になりますが、その子ども「ヨハネ」とは「ヨ=ヤーウエ・主なる神」「ハネ=ハンナ・恵み深い(gracious)。つまりヨハネとは、『主は恵み深い』という意味です。

バプテスマのヨハネは恵みの人でした。そして、恵みとまこと(真実)はキリストをとおしてきた(ヨハネ1章)とあるように、恵みをもたらせたキリストの道備えをしました。

神様は私たちがけて忘れません。どんな状況に置かれても、神様は見捨てません。約束を覚えて、必ず助けを送ってくださいます。主の御使いか、聖霊様か、または祈りの友か…。そして「神の恵み」によって生かされ、愛され、遣わされていることを想起させます。そうです、クリスマスは「恵み」を数え、感謝し、恵み深い者へと変えられてゆくシーズンなのです。